

言語道断 民自公審議 強行

消費税増税 社会保障改悪

民主、自民、公明は、消費税10%増税と社会保障大改悪の「一体改革」関連法案の採決を26日の衆院本会議で強行しました。

採決された3党の修正案も社会保障についての新しい法案も審議はたった2日間。ほとんど審議なしで採決など言語道断です。3党で合意すれば何をやってもいいというのでは民主主義破壊、「3党独裁」です。

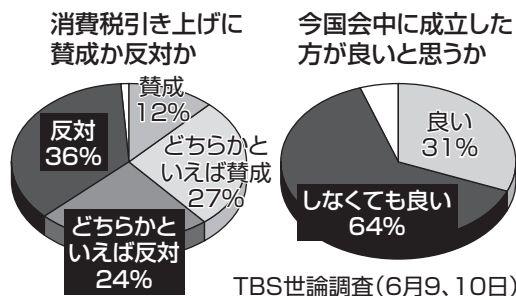


政治の暴走は許さないと行われた怒りのデモ
= 6月21日、札幌市

民主主義 民意・公約に背く暴挙 破壊

やり方も中身もこんなにひどいものはありません。増税法案にはどんな世論調査でも5~6割が反対。民主党の公約の目玉だった最低保障年金の導入、後期高齢者医療制度の廃止は投げ捨て、4年間は上げないと言っていた消費税は増税——民意と公約に背く暴挙です。

「社会保障制度改革推進法案」は、まったくの新品。自民党案の丸飲みで、自公政権時代の「構



「一体改革」路線を法律にして、社会保障の解体にルールを敷くものです。「一体改革」は参院で廃案にさせましょう。

力あわせ参院で廃案に

消費税に頼らない別の道があります

日本共産党は、消費税増税に反対するだけでなく、それにかわる財源を示す抜本的対案を発表しています。聖域なくムダを削減し、①富裕層、大企業ばかりが優遇さ

れる今の税制をただし、能力に応じて負担する税制に大改革して社会保障をよくする、②国民の所得をふやし経済を立て直す——この2つの改革を同時並行で進めます。